

CIS V7.0.2 インスタンスでデフォルトのキャッシュがない

目次

[概要](#)

[問題](#)

[解決策](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Information Server (CIS) バージョン 7.0.2 以降の新しいデフォルト キャッシュ機能について説明します。

問題

バージョン 7.0.2 サーバには、デフォルト キャッシュ機能がありません。

解決策

v7.0.1 以前の CIS インスタンスに v7.0.2 (SP-2) のパッチを当てていると、「 /lib/sources/defaultCacheDataSource」リソースが表示されないか、リソースのキャッシュ タブの [Use Default Cache Database] のチェックボックス オプションが表示されます。

理由は、SP-2 レベル ホットフィックスをインストール後、手動で /bin/cis_upgrade_patch.sh (Microsoft Windows では .bat) スクリプトをまだ実行していないからという可能性があります。このスクリプトはこの新しいキャッシング機能を有効にし、ローカルの Postgres インスタンスをキャッシュ ターゲット プラットフォーム専用として追加導入します。この新しいキャッシュ機能は、従来の「Automatic」 (ファイル) モード キャッシュと同様の使いやすさを兼ね備える一方、マルチテーブル スタイル キャッシュ ターゲット用に 3 つのリレーショナル テーブルを使用します。

注: このスクリプトを、以前 SP アップグレードで使用した可能性のある、以前の /bin/update_patch.sh ファイル (Microsoft Windows では .bat) と混同しないようにしてください。このファイルの使用は v7.0.2 以降では廃止されましたが、このファイルはまだ以前のホットフィックス インストールからは見つかる可能性があります。

v7.0.x インスタンスを v7.0.2 インストーラ ビルドから作成した場合、デフォルト キャッシュはインストール プロセスで自動的に設定されるので、なくなることはありません。